



湾岸・アラビア半島地域ニュース

カタール：インフレ等に関するカマール財務省兼経済・通商相代行発言

(3月17日付現地報道)

3月16日、カマール財務省兼経済・通商相代行は、現地で開かれた保険業界に関する国際会議の機会に、カタールのインフレ、2007年GDP他について以下の通り語った。

1. インフレ

カタールのインフレは、家賃及び食料品が高騰する中、12月末、わずかに上昇して13.74%となった。これは、これまでで2番目に高い数値である。政府目標は、インフレ率を現在以上に上昇させないことである。我々は、その引き下げに努めているものの、これには時間がかかる。また、3月初めに導入された不動産賃貸料の2年間据え置き措置と、住宅供給増加計画は、インフレ抑制に役立つであろう。また、2008年と2009年で、世界の食料品価格は(現在より)30%高騰すると予測されており、建築資材費の増加と共に考慮すると、インフレ率は引き続き約13.7%となる。

2. GDP 等

2007年のカタールの名目GDP成長率は31%である。これから、インフレ分を控除すると、実質成長率は15-16%と推定される。今後、5、6年の間は、カタールは二桁台の経済成長を維持するであろう。銀行部門については、今年17.7%、今後5年間でも焼く15%の成長が見込まれている。カタールの銀行には米サブプライム・ローン関連投資はなく、今後もカタール経済が同危機の打撃を受けることはないと考えられる。

3. 保険業界等

- (1) 湾岸諸国の保険市場は、今後3年間にわたり、年10%以上の拡大が見込まれていることから、カタールは保険業界の地域拠点になることを目指す。カタールの保険市場は強制保険を目指す国家計画及び、期待される経済成長によって活性化されるだろう。カタールでは、今後5年の間に新しいキャプティブ(注：自家保険会社=保険以外の事業を行う企業グループ内に設立され、グループ企業等に対する保険業務を行う保険子会社)が15社ほど設立される可能性がある。
- (2) 湾岸諸国では、1兆1000億ドル以上の資金が重要プロジェクトに投資されている。カタール一国だけでも1450億ドルに達している。

4. 新規株式公開 (IPO)

今年カタールでは、2社もしくは3社が新規株式公開を行うだろう。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799